

ASR 9000 が互換性のないシャーシ タイプのため nV エッジ クラスタに参加できない

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策 1： インストールされている 120 G のライセンスを備えた ASR 9001-S クラスタ](#)

[解決策 2： 誤って設定された ASR 9001-S IML フラグ](#)

[解決策 3： クラスタに 2 種類の Cisco ASR 9000 シャーシが存在する](#)

概要

このドキュメントでは、「Incompatible chassis types」エラーが表示される場合の 3 通りの状況と、それぞれの問題の解決方法を説明します。

問題

ASR 9000 シリーズ アグリゲーション サービス ルータが nV Edge (クラスタ) 環境で起動すると、このエラー メッセージが表示され起動プロセスが終了することがあります。

```
mbi_val_process_packet: received response (rack 1)
Received do not boot message: [min ver: 00.00] reason 6
Don't boot reason: Incompatible chassis types
MBI Validation aborted
```

「Incompatible chassis types」エラー メッセージが表示される状況は 3 通りあります。解決策 1 と 2 は ASR 9001-S だけに適用されますが、解決策 3 はすべての ASR 9000 シャーシに適用されます。

解決策 1： インストールされている 120 G のライセンスを備えた ASR 9001-S クラスタ

この解決策では、クラスタ編成された 2 つの ASR 9001-S シャーシを使用します。

1 つの ASR 9001-S が 120 G にアップグレードされ、もう 1 つの ASR 9001-S が 60 G を実行している場合、後者のルータを起動すると、シャーシ タイプに互換性がないことを示すエラー メッセージが表示されます。

非互換性を解決するには、両方のルータをアップグレードするか (120 G) またはアップグレードしないでおきます (60 G) 。

`show license log operational` コマンドを使用して、ライセンスがアクティブであるかどうかを判別できます。

この例では 120 G ライセンスは機能しません。

```
RP/0/RSP0/CPU0:ASR9001#show license log operational
#ID      :SDR      :FeatureID      :NodeID      :Time:    Log
15       :Owner      :A9K-9001-120G-LIC:0/RSP0/CPU0:Wed Oct 16 05:44:35 2013:
license_acquire: opaque_string (null), result('License Manager' detected the
'warning' condition 'Licensed feature does not exist')
```

この例では 120 G ライセンスが機能しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:ASR9001#show license log operational
#ID      :SDR      :FeatureID      :NodeID      :Time:    Log
1        :Owner      :A9K-9001-120G-LIC:0/RSP0/CPU0:Sat Mar 15 00:22:09 2014:
license_acquire: opaque_string (null), result(No error)
```

解決策 2 : 誤って設定された ASR 9001-S IML フラグ

この解決策では、クラスタが 2 つの ASR 9001-S シャーシで構成されており、いずれのシャーシも 120 G にアップグレードされていません (確認するには「解決策 1」を参照)。

この問題の原因は、ROM モニタ (ROMMON) で Ironman ライセンス (IML) 変数が誤って 1 に設定されていることにあります。この変数を 1 に設定するのは、シャーシを 120 G にアップグレードした場合だけです。

この問題を解決するには、IML 変数を 0 に設定します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:ASR9001#show license log operational
#ID      :SDR      :FeatureID      :NodeID      :Time:    Log
1        :Owner      :A9K-9001-120G-LIC:0/RSP0/CPU0:Sat Mar 15 00:22:09 2014:
license_acquire: opaque_string (null), result(No error)
```

解決策 3 : クラスタに 2 種類の Cisco ASR 9000 シャーシが存在する

この解決策では、2 種類のシャーシが 1 つのクラスタに含まれています。

ASR 9000 nV Edge では、異なるシャーシでクラスタを編成することはできません。ブートアップフェーズで、システムがクラスタリング機能のためにシャーシタイプを検査します。異なる種類のシャーシを組み合わせている場合 (ASR 9010 と ASR 9922、ASR 9001 と ASR 9006 など) は常にこの問題が発生します。

シャーシタイプを確認するには、XR で `admin show diag chassis eeprom-info` コマンドを入力するか、ROMMON で `bpcookie` コマンドを入力します。

次に、XR からの ASR 9001 の出力を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:ASR9001#admin show diag chassis eeprom-info
```

```
Rack 0 - ASR-9001 Chassis
  Controller Family : ef
  Controller Type : 400
PID : ASR-9001
```

次に、ROMMON からの ASR 9001 の出力を示します。

```
rommon B1 > bpcookie
bpcookie:
  Controller Family      : ef
  Controller Type       : 400
Product Number          : ASR-9001
```